

## 加工・業務用たまねぎとキャベツの県内実需者ニーズ

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

近年、加工・業務用野菜の需要が高まっており、特にたまねぎ・キャベツについては、多くの実需者に求められている。現在、実需者は原料である野菜の一次加工作業（洗浄、カット等）の殆どをカット野菜業者に委託する傾向にあり、このことから、実需者のニーズと一致するもとの推測される。そこで、県内のカット野菜業者の求めている品質や規格、ニーズ等を明らかにしたので参考資料とする。

### 2 参考資料

#### 1) 加工・業務用たまねぎに関する実需者ニーズ

たまねぎの仕入れは、皮付きの場合市場又は仲卸から、皮を剥いて上下カットした状態のたまねぎ（以下、「ムキ玉」と表示）の仕入れは、専門業者から行っている。サイズは3LからLが求められており、M、Sサイズは不要である。品質や品種は特に問われていない。皮付きの仕入価格はkg当たり50円前後で、ムキ玉は80から90円である。県内業者は、「宮城県産」（地場産）を他府県産と区別なく購入している（表1）。

#### 2) 加工・業務用キャベツに関する実需者ニーズ

キャベツの仕入れは、各産地系統取扱業者から市場を通して購入している。規格は10kg入り段ボールに6個前後入るサイズで、寒玉系品種を求めている。仕入価格はkg当たり65円前後である。県内産は出回れば使うことがある（表2）。

### 3 利活用の留意点

1) 本調査は、現在把握している県内のカット野菜業者10社のうち、5社に聞き取り調査を行ったものである。10社のうち1社の取扱量は不明であるが、残り9社の玉葱年間取扱量は約4,000 t弱、キャベツは2,000 t弱である（平成19年）。実需者とは、食品加工、弁当・総菜製造、集団給食、外食産業等であり、浅漬け製造などの漬け物業者は含まない。ニーズや価格に関しては、取引先の変更や市場の動向により変動がある。

2) 集落営農において、安定的な収入が見込める加工・業務用野菜の生産導入を行うため、県内実需者ニーズや仕入れ状況について明らかにしたものである。本調査で明らかになった内容は、今後集落営農で加工・業務用野菜に取り組む際の参考になる。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8120）

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

集落営農における実需者ニーズに対応した加工・業務用野菜生産技術の確立（平成20～21年）

##### 1) 実需者ニーズの調査

##### 2) 参考データ

表 1 玉葱に関する実需者ニーズ

業種	カット野菜業者				ムキ玉葱製造
	A社	B社	C社	D社	
会社名					E社
皮付き年間購入(t)	—	72	ごく少量	480	1000
ムキ玉年間購入量(t)	200	360	144	—	—
主な仕入れ先	ムキ玉専門業者	仙台市場卸又は仲卸 / ムキ玉専門業者		仙台市場卸売会社	
規格(サイズ)	2L～L	2L～L	2L～L	3L～L	2L～L
求める品質	糖度高め	特になし			
品種の指定	特になし	水分多い品種以外	特になし		
皮付きkg当たり価格(円)		45(平均)	50(平均)	50(平均)	50(平均)
ムキ玉kg当たり価格(円)	100～120	80～90	80～90	80～90	
県産使用実績	なし	あり	あり	あり	あり

表 2 キャベツに関する実需者ニーズ

会社名	A社	B社	D社
年間使用量	100 t	約360 t	600 t
仕入れ先	仙台市場（産地経済連と契約し、市場を通して購入・運搬）	仙台市場の仲卸 7 社使い分け	仙台市場（宮果）
規格(サイズ) 10kg箱当個数	6～8玉	5～6玉	6玉
品種の指定	寒玉系	寒玉系	寒玉系
kg当たり仕入価格	65～75円	70～75円	60円前後
県産使用実績	なし	あり	あり

注) A, B, D社は表1と同じ会社

##### 3) 発表論文等

なし